

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住むにほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っただの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが 活動を つづ 続けています。

くろするろ〜ど

がつごう 2020/2月号

かいほうし 会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

げっかん がつ ~サロン月間カレンダー2月~



のうこうだい ほうもんき 「農工大の訪問記」

■文化交流活動

すいようごご 水曜午後ボランティア すえだ けいじ 末田 圭治

2月5・12・19・26日(毎水)午後1時半~3時

「ダンス教室」定員15名・無料

場所：サロン託児室

2月7日(金)午前10時~午後1時半

「料理教室・ポーランド料理」

定員18名・参加費1000円

場所：中央文化センター料理講習室

*申し込みは1月31日(金)まで

2月14日(金)午前10時半~12時

「生け花」定員15名・花代500円

場所：サロン3階奥の部屋(倉庫前)

*申し込みは2月13日(木)正午まで

2月21日(金)午前10時半~午後1時

「郷土の森散策・梅まつり」

集合：郷土の森入り口 午前10時

入園料：市民150円 市外の方300円

*各自お弁当を用意のこと

★以上の対象は学習者とボランティア

詳しいことは、事務局まで

■「教授法研修Ⅱ~講習会」

2月15日(土)「日本語の音声」

2月29日(土)「入管法と在留資格など」

詳しいことは「みんなの広場」をご覧ください。

■「三小訪問」

2月19日(水)午前10時45分~午後1時半頃

場所：府中市立第三小学校

対象：学習者

詳しいことは、事務局まで

1月24日(金)10時より、東京農工大学の伊藤夏実准教授の案内で同大の府中キャンパスを見学しました。

最初に1934年に建造の有形文化財である農学部本館を訪れ、講義棟も見学できて、歴史あるたたずまいを感じることができました。

次に農学部先進植物工場研究施設を訪問。ここでは春夏秋冬の各部屋が用意され、ブルーベリーの栽培と研究が行われていました。早春の部屋では、蜂も飛んでいたのですが、美味しいブルーベリーの試食と、中国出身でサロンに来たこともある車さんの詳しい案内で、嬉しくなりました。

次に、フリーストールと言って牛が自由に歩ける牛舎を見学しましたが、2時間に60頭の搾乳が可能とのこと。牛さんは、約750kgと大きいですが人懐っこい可愛い瞳の持ち主でした。ここで問題です。黒毛和牛の毛と、ホルスタインの黒い毛の方では、どちらがより黒いでしょうか？

答えは、ホルスタインの毛の方が黒いのです。比べてみて瞭然でした。

最後に食事となり、ウズベキスタン、ガーナ、ベトナム、ブラジルの学生も同席して、三ヶ日みかんのピューレを使ったちらし寿司や農工大の牛乳から作ったアイスクリームを美味しく頂きました。

今回は、定員オーバーのため抽選漏れの方には申し訳ありませんでした。また開催して頂ける話もありましたのでご期待ください。

世界の文化

「サロンの集い～学習者代表挨拶」

胡佳 (中国)

皆さん、こんにちは。先ほど鷹見会長と高野市長の貴重なお話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。私は胡佳と申します。2017年9月に中国の上海から日本に参りました。私が、今日ここでサロンの外国人の代表として



挨拶できることは、大変光栄でございます。今、上智大学大学院に通っています。来年4月に卒業する予定です。その後、日本で就職することが決まりました。私は2018年2月にサロンに参加しました。今年の3月には日本語発表会の司会の仕事を担当させていただきました。サロンのみなさんのおかげで、この2年間、いろいろな知識を勉強して、いろいろな良い経験ができました。

最初に出会った小杉先生は、私の要望に応じて、毎週私にあった教案を作ってくださいました。例えば、日本の有名なことわざやニュースの記事や社会人の常識敬語などを勉強し、日本社会に対する理解を深めました。また、サロンで日本語の勉強はもちろん、大学院進学の面接や就職活動のこともじっくり時間をかけて、丁寧に工夫をしてくださりました。そして、就職面接がうまくいかず気分が落ち込んだときにも、小杉先生は親切に言葉で励ましたり、更にストレス解消グッズで有名な「ゴム風船」を買ってくださいました。毎週月曜日の午後には元気な小杉先生と会えることを楽しみにしています。

そして、昨年7月にはサロンの発表会で「私のふるさと」についてスピーチしました。また12月頃にサロンの先生が「来年の発表会では司会を勤めますか？」と尋ねてくれました。「いいですよ。挑戦してみたいです」とすぐ答えました。実は、司会者の経験がほとんどなかっただけでなく、外国語を使っ

て行うのは非常にハードルが高くなるので、うまくできるかどうかと心配しました。その時に、金曜日夜の岡先生がたくさん手伝ってくださいました。MC原稿台本を作り上げるために、毎週の勉強会で先生と討論し、言いやすく、読みやすいように細かいところまで工夫し、内容と文法を練り直しました。大勢の前で堂々と立って気持ちをしっかりと伝えるために、司会経験者の岡先生に正しい発音を伺い、何度も大きな声を出して、繰り返し練習しました。その結果、発表者一人一人の個性を上手に紹介でき、会場の雰囲気も盛り上がりました。司会進行の仕事を通して日本語が上達でき、自信を深め、先生から誉めいただいたことが更に自分の原動力になりました。そして、多くのことに挑戦し続けることさえできれば、チャンスは何度でも訪れることを認識しています。

サロンのみなさんは、私にとって最も大切な宝物です。これからもずっと、一生の宝物として忘れられないと思います。残念ですが、私は来年4月に日本で就職するので、サロンにいる時間はあと3ヶ月間です。しかし、ここで学んだ社会知識や会話力や芯の強さやチャレンジ精神などいろんなものを日本の企業で生かし、日本と世界の架け橋になりたいです。そして、これからはサロンにいらなくても、日本語の勉強を続けていきたいと思っています。語学習得の道に終わりはないからです。

今日、この場を借りて外国人の代表としてサロンのすべての先生がたに感謝したいです。

「ありがとうございました。」

そして、2019年大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願ひいたします。

これで私の挨拶を終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

(編集部注：胡佳さんは、昨年12月14日の「サロンの集い」で学習者代表の挨拶をされました。)



「バオバブの木、知っていますか？」

水曜午後ボランティア 森谷 真名子

サンテグジュペリの『星の王子様』を読んだことのある方なら、その中に出てくるバオバブの木をご存知の方も多いかと思います。アフリカ大陸を象徴する木、バオバブはマダガスカルにあるものが有名ですが、星の王子様に出てくる木はセネガルのバオバブがモデルとされています。サンテグジュペリは若い頃にフランス、モロッコ、セネガル間の郵便飛行機のパイロットとして活躍しておりセネガルでの滞在が長かったためですが、彼が常宿としていたホテルはセネガルのサンルイという街で今も営業しています。

バオバブは土の中に根を深く張らないため若い木は嵐などで簡単に倒れてしまうのですが、少しでも根が地中に残っていると枯死することがない生命力の強い木です。昔よりかなり数が減ったそうですがセネガル国内にはバオバブの森があちこちにあり、特に樹齢何百年の古木はセネガル人にとっては神様が宿る、神聖な木でもあります。バオバブの木の中は柔らかい繊維質でできているので、何百年も経って大木となった木は中が空洞になります。そのため昔はグリオと呼ばれる祈禱師を埋葬するお墓として使われていましたが、現在は中で祈禱を献げる礼拝所として使われている木も多いようです。

神様の木バオバブですが、住民たちにとっては生活に欠かせない大切な木でもあります。巨木で大きな木陰を作ってくれるバオバブはサバンナで生活する人々にとっては大事な休息所であり、住民の憩いの場になります。そして葉は薬草となり、実は食料になり、樹皮は加工して強いロープなどが作れます。特にバオバブの実はビタミンCやカルシウムが豊富なため、近年では粉末がスーパーフードとしてヨーロッパへ輸出されたり、化粧品の材料としても使われています。

日本ではほとんど目にする事ができないバオバブですが、セネガル空港では輸出用のおみやげとして苗木が売られているので日本で育てることができるのかも？ですが、バオバブはやはりアフリカの広大なサバンナにすくっと立っている様子が美しい

と思います。

(編集部注：森谷さんは、2013年よりボランティアをしていますが、ご主人の転勤によりセネガルに2年3ヶ月滞在し、昨年ボランティアに復帰して下さいました。)



バオバブの木



バオバブの実

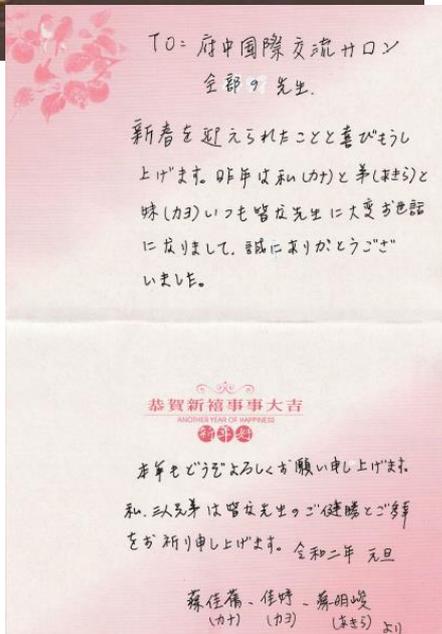


「蔡さん姉弟妹からの新年挨拶」

日本語学習会に来ていた台湾の蔡さん姉弟妹をご存知でしょうか。彼女たちから新年の年賀状が届いていますので、紹介させていただきます。

日本語学習会で学び帰国した学習者から便りを頂くことは嬉しいものですね。

頂いた年賀状は、サロンに掲示していますので是非ご覧ください。(編集部)



べん きょう かい ほう こく

勉強会報告

～99～

「初級を終えた学習者は

こんなことを学びたがっている」

げつよう ご ご かわぐち てつや
月曜午後ボランティア 川口 哲也

1月15日 水曜日 午前10時から12時まで、サロン内で、研修部会主催の「勉強会」が上記のテーマで開催されました。

当日はあいにく、雨模様の天候となり、予定されていた参加人員を下回る14名の参加者で、会は始まりましたが、各自の体験談を披露しながら、意見交換、教材の紹介、教授法についての相談事等、終始活発な発言の場となり、中身の濃い、一定の知見を高められた「勉強会」となりました。

特に学習者として参加された岡林秀雄さんと吳菲菲さんからは、学習者のそのものズバリのニーズを聞くことができ、サロンでの学習者支援の参考になりました。

また、漢人さんからは、「介護現場での外国人職員に求められる資質」のお話。

柳川さんからは、御自身の日本語教師として従事されている日本語学校での経験談。

林さんからは、学習者が遭遇しているある環境でのコミュニケーションの悩みを解決するための手段として、スポーツボランティアにその学習者と共に参加し、解決のための会話能力レベルアップの場を設定し共有するという、新卒の支援策談なども飛び出して、全体として大いに盛り上がった次第です。

尚、紙面の都合上、上記の5名の方の具体的なお話や、その他の参加者の方々の貴重な体験談をすべて御紹介できないのがとても残念です。

なので、皆さん、是非、今後、同会へ奮って御参加ください。

参考教材等、詳細は勉強会記録をご覧ください。



しん

新ボラさん こんにちわ

きんよう とりい ゆみ
金曜夜ボランティア 鳥居 優美

私は一昨年の秋からボランティアに参加しています。実は学生の頃、当時こちらでボランティアをやっていた知人の紹介で短い間でしたがボランティアをやっていたことがあります。その時は大学に通っている方々と一緒に勉強をしたり、出身地のことを教えてもらったりととても良い刺激をもらいました。しかし、就活や就職をし東京を離れてしまい来れなくなってしまいましたが、2年前ニュージーランドに留学した際に帰国後またボランティアに参加したいなと思うようになりました。留学中、語学学校以外で現地の方と英語で話す機会がなかなかなく、とても苦労しました。そんな経験から、少しでも日本に滞在していて日本語を頑張っている方たちのお手伝いをしたいと思いまたこちらに参加させてもらう事になりました。まだまだわからないことがたくさんありますが、よろしくお願ひします。



みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

ヨン・ソピア さん(カンボジア)



こめ けんきゅう 「お米の研究をしています」

2016、2017、2018年に2週間ずつ茨城農業研究所、青森の弘前大学にきましたが、2019年8月末に東京農工大学修士課程に留学するために来日しました。

大学を卒業してから政府の農業研究機関CARDIで仕事をしていました。そこでは、今でも46種類のお米があります。高地、低地向きのもの、水が多い土地、早生、中間、遅く収穫するものなどです。

今東京農工大学で研究しているのは、インディカ米で香りがよく、干ばつに強いお米です。2月にはカンボジアに一時帰国してそれを実際に植えてみます。研究機関に所属しての留学ですので、卒業したら戻り、より良いお米、野菜の研究をします。このような熱心な研究者が居て、カンボジアの食糧事情は安定されることがよくわかりました。

趣味は、クラシックの音楽を聴いたり、ユーチューブで動画をみることです。

日本の食べ物では、ラーメンが好きで、野菜や果物、特にメロン、柿、栗が好きだそうです。

日本は環境が良いし、とてもフレンドリーなので、ソピアさんの夢は、将来日本に住むことだとおっしゃっていますが、カンボジアの農業の発展には、ソピアさんの力が必要とされるのではないでしょうか・・・。

(堤 林)

とう こう 投◇稿

とうきょうにゆうかんけん がくき 「東京入管見学記」

げつようごぜん きんようよる くわじま むねとし
月曜午前・金曜夜ボランティア 桑島 宗利

さくねん がつ しゅつにゆうこくざいりゆうかんりちゆう にゆうかん
昨年7月に出入国在留管理庁(いわゆる入管)
の東京出入国在留管理局(略称:東京入管)を
けんがく けんがく たぶんかききょうせい
見学してきました。「多文化共生コーディネーター
こうざ とうきょうとくこくざいりゆうかんりきとく りやくしやう とうきょうにゆうかん
講座」(東京都国際交流委員会主催)の全科目履修者
けんしゅう にゆうかん がくしゅうしや たちかわ
研修です。入管という学習者さんから立川
しゅつちゆうじよ き しながわく
出張所のことを聞くことができますが、品川区にあ
るとうきょうにゆうかん ほんきとく ほかに
東京入管は本局です。首都圏には他に支局4つ
しゅつちゆうじよ しながわ
と出張所12があります。JR品川からバスで5分
のところにあり、多くの外国人が手続きのために訪
れていました。

にゆうかん かいだ きよだい
入管は11階建ての巨大なビルでした。1・2階は
いっぽんでき そうだん てつづ せうごち かい ざいりゆうしやく
一般的な相談や手続きの窓口で、1階は在留資格に
かんする そうだん かい でんわき
関する相談コーナーです。15台の電話機やメールで
たげんご そうだん う まどぐち せやく
多言語相談も受けています。窓口は予約なしです。
2階にはざいりゆう かんけい こうふ しんせい へんこう こうしん
在留カード関係(交付・申請・変更・更新・
えいじゆうしんせいとう とくていぎのう そうだんまどぐち
永住申請等)などのコーナーや特定技能の相談窓口
があります。更に就労の相談や永住審査相談のカウ
ンターもあります。

げんち
現地では、①留学②就労③研修・短期④難民⑤
えいじゆう とうかつ たいきよ しつこう しゅうよう かくぶもん たんとうかん
永住⑥統括⑦退去⑧執行(収容)各部門の担当官か
ら直接話を伺いました。

とうきょうにゆうかん しゅつにゆうこくかんりほう かか じつわ おこな
東京入管は出入国管理法に関わる実務も行っ
ていて、なんみんしんせいしや ちゆうき たいざいじょうけん ちゆうき
難民申請者の調査や滞在条件の調査もここ
でやっています。違反者の収容場(※管理局の造語)
も持っています。この収容場の規模は800人です。
なんみんもんだい ほうどう ひがしにほんしゅうよう
難民問題でよく報道される東日本収容センター
いばらきけんうしやくし とうきほ ひしゅうようしや かいいじょう
(茨城県牛久市)と同規模です。被収容者は8階以上
に収容されています。見学当時は500人が収容され
ていました。わたし なんみんちゆうさしつ ひしゅうようしやかんし
私たちは難民調査室や被収容者監視
ぶもん けんがく
部門も見学しました。

とうきょうにゆうかん いっばんじん かい いっばんとう
東京入管では、一般人は4階までの一般棟にしか
出入りできません。(エレベータのボタンは7階ま
で)。ひしゅうようしやとう せんよう
被収容者棟は専用のエレベータがあり、1階か

ちやくつう いっばん てつづ たいおう がえ かいおく
ら直通です。一般の手続き対応でござった返す1階奥
にはとくべつ しき めんかいしつ
には特別に仕切られた面会室があり、被収容者は8
階以上から監視付きで降りてきて家族や支援者・
かいいじょう かんしつ かぞく かせんしや
弁護士等と面会するそうです。「難民調査室」では、
なんみんしんせいしや ほんとう なんみん ほんてい
難民申請者が本当に難民かどうか判定するための取
り調べを行うそうです。

7階の「執行部門棟」も見学し、監視モニター室で
6台のモニターを見ながら8階以上の被収容者階の
じゆうきょう かいせつ
状況を解説してもらいました。この階の職員は、
かほうかい しよくいん ちが ぜんいん けいさつ けいむしよ しゅつどうふく
下方階の職員と違い、全員が警察や刑務所の出動服
のような制服で勤務していました。

ひしゅうようしやかい きよしつ ほか たいいくじょう たもくてき
被収容者階には居室他に体育場や多目的ホー
ルがあります。被収容者は、収容エリア内で自由に
にゆうかん せんたく うんどうなど
入浴、洗濯(コインランドリー)、運動等ができます。
たもくてき せつち こうしゅうでんわ かくさいでんわか
多目的ホールに設置された公衆電話(国際電話可)
でがいぶのもの ほな
外部の者と話すこともできます。ただし、外出は
できません。被収容=軟禁なのです。

なんみんしんせいしや げんざい まんにん しゅうろうきんし
難民申請者(現在1万人)は就労禁止です。申請の
きかかない はたら てきはつ しゅうよう たいきょうたいしゅう
期間内に働くと摘発・収容・退去対象になります。
さくねん なんみんとう ざいりゆうきよか て たきよかしゃ じん
昨年、難民等で在留許可が出た許可者は82人です。

ふ き じちたい しゅつにゆうこくざいりゆうかんりきまき れんけい
◎付記:「自治体と出入国在留管理局の連携」
じゆうみんひょうかんけい てんしゅつにゆう しゅつしゆう みぶん じゅうしよ にゆうかん
住民票関係(転出入、出生、身分、住所)は入管
たんまつ とうかん どうていどじょうほう くしちゆうせん だ
端末に届き、入管からも同程度情報は区市町村に出
すそうです。い か しゅうようじょう しやうかい
以下収容場のHPを紹介します。

<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/taikyō/shisetsu.html>



とうきょうにゆうかん たてもの
東京入管の建物

にっさんけんせつ
りんかい日産建設のホームページより

はな 「花ことば」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

さくしゅう あ がた しんやびん
昨秋の、ある明け方、NHK の『ラジオ深夜便』を
うつらうつらきいてると、「今日は10月15日。今日
の誕生日と花ことばは…」という声が流れ、ハタと
自分の誕生日だと気づき耳をそばだてました。

たんじょうばな うすむらさきいろ しおん はな
誕生日は、薄紫色に咲くキク科の「紫苑」で、花
ことばは「追憶、遠い人を思う」とのこと。そして、
『今昔物語』（平安末期に編まれたといわれる
説話集）にある、こんな話も紹介されました。

ちち な きょうだい ほかに かな
父を亡くした兄弟が墓を守り続けますが、兄は悲
しみを忘れたく、それを見れば思う人を忘れられる
という萱草を墓の周りに植えます。一方、弟は悲し
みを忘れまいと、それを見れば心に思うことは決
して忘れないという紫苑を植えます。ある日、墓守
をする鬼神が、親を思う弟の心に打たれ、これから
先毎日、その日に起こるすべてのことを事前に夢の
中で告げようと約束します。それからは、弟はその
日のすべての出来事を予知できるようになったと
いう内容です。

はなし き ねんまえ りょうしん あいつ な
この話を聴き、8年前に両親を相次いで亡くした
ことを思い出しました。8月に母が、11月に父が逝き
その葬儀の多忙さに、悲しくとも涙を流す間もなか
ったことを覚えていて、父の葬儀を終え年が明けた
ころ、連れ合いから、「父さん、涙を流すことあ
ったのかな」と息子の一人が心配していたことを聞
きました。悲しいときには涙を流す、という自然な
感情に父は浸れたのかなという思い遣りだったよ
うです。時の流れの中で悲しみの感情は消えるもの
の、両親と過ごした日々の断片は鮮やかに甦ること
が間々あります。

ぼうきやく ついおく ひと そな か
忘却と追憶。人に備わったそのころを描いた
『今昔物語』の兄弟のエピソードは、千年の時を超
えて色褪せず悲しみの神髄を我々に問いかけてくる
ようです。



にほんごがくしゅうはっぴようかい し 「日本語学習発表会のお知らせ」

ことし とうきよむさしふちゅう きょうきん
今年も東京武蔵府中ロータリークラブの協賛を
いただき、「日本語学習発表会」を開くことになり
ました。府中国際交流サロンで日本語を学ぶ学習者
の皆さんの日頃の学習成果をためすよい機会です。
日本語の学習を始めて間もない方や初級・中級・
上級の方の発表も予定しています。

にちじ がつ か じ かいし
日時：3月14日(土) 13:30 開始

ばしょ ル・シーニュ内プラッツ6階 会議室

ないよう だい にほんご ほんご
内容 第1部：日本語発表会

だい 2部：ティーパーティー

はっぴようかい しかい ほんご まな
発表者・司会：府中国際交流サロンで日本語を学
ぶ学習者

はっぴようじかん ひとり ぶんてい じ
発表時間：一人4分程度

はっぴようにんずう めいてい じん
発表人数：15名程度

がくしゅうしゃ みな
学習者の皆さんのスピーチに耳を傾け、熱い声援を
お送りいただきしたいと思います。ぜひご参加くださ
い。お待ちしております。
(編集部)



「教授法研修Ⅱ～講習会のお知らせ」

～編集後記～

1月21日から教授法研修Ⅱ(全10回)が始まりましたが、そのうちの2回は、下記の特別講習会になります。教授法研修Ⅱは、昨年の教授法Ⅰを受けたボランティアが対象ですが、この講習会は全ボランティア、学習者の方々も聴講できます。また、この講習会以外の8回の講座も、希望の講座のみの聴講ができます。是非ご参加ください。

■「日本語の音声」講習会

日時：2月15日(土)午後2時～4時

場所：サロン3階 会議室

講師：中村則子先生(早稲田大学非常勤講師)

対象：ボランティア・学習者

■「入管法と在留資格などについて」講習会

日時：2月29日(土)午後2時～4時

場所：サロン3階 会議室

進行：生活情報支援部会

対象：ボランティア・学習者

*以上の詳細と申し込みはサロン事務局まで
(研修部会)

今月号の「世界の文化」に掲載した台湾からの年賀状は、蔡姉弟妹から届いたものです。姉のカナさんは菓子職人を、2番目のアキラくんはデザイナーを目指し、一番下のカヨさんは留学目的で、それぞれサロンに通っていました。日本語学習発表会では三人ともそれぞれ機知にとんだ印象深い話を披露してくれたのが昨日のこのように思い出されます。

サロンで過ごした日々を忘れず、感謝を込めて送ってくれた賀状は、我々ボランティアをホッコリとさせてくれる贈り物です。アキラくんは日本に残り、姉妹は台湾に戻りそれぞれの道を歩んでいるようですが、またいつの日にか三人にサロンでお会いできるのを楽しみにしています。(和田)



「平成30年度事業報告書完成」

平成30年度(2018年4月～2019年3月)の府中国際交流サロンの年間活動報告や会計報告をまとめた事業報告書が完成しました。各学習部会で配布しますが、サロン事務局にも備えてありますので、是非ご一読ください。(編集部)

【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：堤林・和田・岩城・末田
【事務局】 電話：042-352-4178
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ
<http://www.fuchukokusai.gr.jp>